

報 告

近畿病院図書館協議会第37回勉強会

研修部

日 時：2013年12月7日（土）13:30～16:30
 場 所：京都桂病院図書室
 テーマ：図書の修理と製本
 講 師：藤原孝氏（京都ノートルダム女子大学
 司書課程非常勤講師「図書の修理と製
 本」担当）
 参加者数：8名

藤原孝先生の製本・補修講習は2006年に開催した第22回勉強会から始まり、今回で3度目の講習となった（図1）。2007年に開催した第25回勉強会での講義・実習内容は、会誌「病院図書館」¹⁾に先生の監修と会誌編集部で作成で写真と図入りでわかりやすく解説されているので、まだ製本・補修講習を受講されたことのない方は、ぜひご覧いただきたい。

前回の講習では「Lancet」や「BMJ」のような一冊一折で糸やステープルで綴じてある雑誌を合冊製本したが、今回は「病院図書館」や「内科」のような背文字の書いてある角背の雑誌



図1 講習の様子

を合冊製本した。筆者は3回とも参加しているが、今回は糸や針も使わず、主な作業は糊で貼るだけのとても簡単な作業であった。材料も、糊と表紙にする厚紙、表紙をコーティングするクロスとホームセンターや文具店で入手可能なもので、皆時間内に1冊仕上げる事ができた。

後半は、古い文庫本にハードカバーの表紙を付けて補修する方法を教えていただいた。一度表紙をはがし作業するなかで、参加者から「やっと本の仕組みがわかった」「次は自分の大切な本をハードカバーにしたい」という声があった。それぞれ持参した古い文庫本が、しっかりとしたハードカバーの素敵な一冊に生まれ変わった。

予定よりもスムーズに進んだので、糸と針を使った糸綴じ製本も教えていただいた。他にも、先生が作成された、1年分の年賀状を1冊に製本した美しい装丁の文庫本や、子どもの絵画作品を製本した作品をご紹介いただき、ぜひ挑戦したいと思った。

先生は大学での講義や各地の公共図書館や学校図書館司書の巡回指導をされているが、病図協で勉強会をお願いすると毎回、事前に病院図書館に足をお運びくださり、病院図書館の資料の特徴から必要とされる技術を考えてくださり、新たな発見をいただいている。

もくもくと作業を進める中で、本の仕組みを熟知した先生のお話しされるポイントや豆知識からも多くの学びをいただくことができる。

次回開催の際には、まだ先生の講習に参加したことのない会員の方はもちろん、2回目、3回

目の方もぜひ参加いただき、本のスペシャリストとしての技術を磨いてみてはいかがでしょうか。

最後に、今回の勉強会開催に際して、事前のご準備から丁寧なご指導をいただいた藤原孝先生と、施設を提供してくださった京都桂病院の皆さま、桂病院図書室の椎木さまに感謝申し上げます。

参考文献

- 1) 藤原孝. 会誌編集部. 藤原孝先生の製本講座 継続雑誌のかがり綴じによる合本製本. 病院図書館. 2007; 27(3): 117-27.

(文責: 藤原純子/洛和会音羽病院)